

論文タイトル「胸痛と炎症反応高値で受診し心膜周囲脂肪壊死と診断した1例」

著者名:中西 雄<sup>1</sup>, 岩田 健吾<sup>2</sup>, 奥崎 体<sup>1</sup>, 高田 悠太郎<sup>1</sup>, 正木 龍太郎<sup>2</sup>, 原田 和歌子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>広島市立北部医療センター安佐市民病院 呼吸器内科

<sup>2</sup>広島市立北部医療センター安佐市民病院 総合診療科

## 要旨

心外膜脂肪壊死 (epipericardial fat necrosis: EFN) は, 急性胸膜痛を呈する稀な疾患である. 我々は2週間の経過で増悪する咳嗽と急性胸膜痛を主訴に来院し, 縦隔腫瘤影, 胸水貯留, 炎症反応高値を認め非ステロイド性抗炎症薬の投与により軽快した症例を報告する. EFN は稀な疾患と報告されているが, 近年, CT の普及により症例報告が増えている. 本症例は胸水貯留, 炎症反応高値, 咳嗽を認めた非典型例であるが, EFN は胸膜痛の鑑別疾患として重要であるため報告する.

## キーワード

炎症反応上昇 (Elevated inflammatory markers), 胸痛 (Chest pain),  
胸水 (Pleural effusion), 縦隔腫瘤影 ( Large mediastinal tumor), 心膜  
周囲脂肪壊死 (Epi-pericardial fat necrosis)

## ランニングタイトル

胸痛で受診した心膜周囲脂肪壊死の 1 例